



**土砂災害にも注意を**  
土砂災害は大雨、台風、長雨により発生し、「土石流」「地すべり」「がけ崩れ」の3つに分類されます。土砂災害には、次のような前兆現象が起こります。これらを確認した場合はすぐに斜面などから離れ、身の安全を図る行動をとってください。

**「土石流」**  
▼急に川の水が濁り流木が混ざる▼山鳴りがする▼雨が降り続けているのに川の水位が下がる

**「地すべり」**  
▼沢の水や井戸水が濁る▼斜面から水が噴き出す▼地面にひび割れができる

**避難の呼びかけ手段**  
市からの避難の呼びかけ（避難勧告などの発令）は、同報無線や市ホームページ、LINEなどのほか、テレビ放送（データ放送含む）や「緊急速報メール」で実施します。緊急速報メールは、災害発

生の際、市では最新情報を分析し、気象台などと連携しながら市内の状況を常に監視しています。氾濫や土砂災害の危険が高まった場合には、市から「警戒レベル」に応じた避難情報が発令されます。状況に応じて必ず安全を保てる場所を避難所として指定しますので、避難情報が出たら、早めの避難を心がけてください。

**市からの呼びかけで迅速な避難を**  
台風や豪雨のとき、市では最新情報を分析し、気象台などと連携しながら市内の状況を常に監視しています。氾濫や土砂災害の危険が高まったときには、「土砂災害警戒情報」が県および静岡地方気象台から共同発表されます。

**「がけ崩れ」**  
▼がけから水がわき出している▼がけから小石がパラパラ落ちる▼がけに亀裂ができる

**実際に避難の呼びかけがあった場合は…**  
▼  
昼夜の滞りも考え、自分自身を使用する**毛布などの寝具**や**2食分程度の食料**を準備してから避難しましょう。

**避難用品や非常用品の用意も忘れずに**  
安全で避難しやすい服装を用意し、食料や飲料水、懐中電灯、携帯ラジオなどの非常用品や、非常時に持ち出す貴重品をまとめておきましょう。また、携帯ラジオの予備電池や携帯電話の充電にも注意し、毛布なども用意しましょう。

近年、全国各地で局地的豪雨や台風による大規模な風水害や土砂災害が発生しています。ここ数年の降雨状況が局地的・短時間豪雨化しているほか、接近する台風も巨大化傾向にあり、災害が発生する危険度が高くなっています。風水害や土砂災害から身を守るためには、最新の気象情報などに注意し、市から避難の呼びかけがあったときには、正しく迅速に行動することが重要です。家庭や地域で、風水害や土砂災害について理解し、有事の際に適切に行動できるよう確認しておきましょう。

問い合わせ 防災課 西原 ☎0056



# 梅雨や台風の季節が到来します 台風や集中豪雨から身を守るために

**自宅や地域の危険箇所と避難先の確認を**  
平常時から、自宅周辺や地域の危険箇所を知っておくことで、いざ避難となったとき、危険な場所を避けて安全に避難できます。また、避難先も家族で確認しておきましょう。市ホームページでは、平常時から災害に備えるための情報をお知らせしています。

**災害対策の第一歩は「情報収集」から**  
風水害や土砂災害対策の第一歩は「情報収集」です。天候の推移や河川の状況など、最新の情報を把握することで、避難の準備や心構えができ、市から避難の呼びかけがあったときに、すぐに行動できます。

家庭や地域では、地上デジタルテレビのデータ放送やインターネットから最新の情報が分かります。

▲令和元年10月の台風19号では、萩間川・勝間田川・坂口谷川の3河川が氾濫危険水位を超過するなど、大雨による大きな被害が発生。榛原総合病院（細江区）前の道路も冠水した。

## 知っていますか？避難情報

無理な避難をしない「垂直避難」も有効



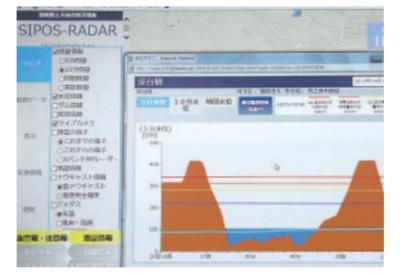
夜間や雨脚が強い状況下での子どもや高齢者、足腰が不自由な人などの避難は大変危険です。無理に避難所へ移動せず、住宅の2階など、高いところへの避難（垂直避難）も有効です。河川の近くや土砂災害の危険区域にお住まいの方は、避難所への避難を優先してください。

### 避難情報の種類と住民に求める行動

| 警戒レベル | 住民に求める行動   | 避難情報など           |
|-------|--|------------------|
| レベル5  | すでに災害が発生している状況。命を守るための最善の行動をとる。                      | 災害発生情報           |
| レベル4  | 速やかに避難所に避難。避難所への移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内の安全な場所に避難。 | 避難勧告<br>避難指示（緊急） |
| レベル3  | 高齢者など、避難に時間を要する人とその支援者は避難。その他の人は、いつでも避難ができるよう準備。     | 避難準備・高齢者等避難開始    |
| レベル2  | 避難に備え、ハザードマップなどにより自らの避難行動を確認。                        |                  |
| レベル1  | 災害への心構えを高める。   |                  |

## 情報収集が身を守る

インターネットによる情報収集



気象庁 (<http://www.jma.go.jp>) 雨雲の動き、台風の勢力や進路のほか、土砂災害などに関する防災情報が提供されています。

**サイポスレーダー** (<http://sipos.pref.shizuoka.jp>) 県が運営するホームページで、萩間川や勝間田川、坂口谷川の水位情報などが確認できます。

地上デジタルテレビのデータ放送



地上デジタルテレビのリモコンの「d」ボタンから、データ放送の防災情報（天気予報や降雨状況、河川水位など）が見れます。「d」ボタンは、テレビの機種によって配置が異なります）  
\*河川水位はSBS（静岡放送）、NHK（日本放送協会）のみの提供です。

市では、河川の決壊や氾濫を想定した「牧之原市洪水ハザードマップ（洪水避難地図）」を全戸配布しています。このハザードマップは、市ホームページからも閲覧できます。また、県が順次調査を進めている市内の土砂災害危険箇所（区域）も、同じページから確認できます。

牧之原市 洪水ハザードマップ

平常時から区や町内会の避難地を確認しておきましょう。

牧之原市 お住まいの避難地